

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年7月24日公開

ニュージーランド・クライストチャーチより

(日本時間7月24日午前9:20～=ニュージーランド時間同日午後12:20～)

皆さん、シャローム。おはようございます。私には「おはようございます」ではありませんが、ニュージーランドのクライストチャーチでは、すでにお昼の12:20です。わたしの後ろに見えているのは、商業地区の隣にある素敵な公園です。皆さんにご覧いただけるか分かりませんが、小川が公園の横を流れていて、良いところですよ。これから約2時間後に迎えが来て、少し観光に連れて行ってもらって、それから今夜、クライストチャーチのカルバリーチャペルで講演をします。

ここまで、本当に素晴らしい時間を過ごせました。主を褒め称えます。日本の聖徒の皆さん、その次のオーストラリア・パースの聖徒の皆さん、本当に素晴らしくて感動しました。私にとっては、私の話を聞くために、多くの方が国のいたるところから集まって来てくださり、座る場所もないほど教会がいっぱいだったのを見て、へりくだる思いでした。人々が飢えているのです。一人の牧師先生が私に、

「アミールさん、教会が死にかけているというのは、事実ではありません。しかし、教会は飢えています。」と言いました。それから彼は、

「それが問題です。私たちのところでは、世界中の人たちが救われているのです。信仰という意味では、ここは西欧社会の中で最も増加しています。救われる人の数は増えているのです。ただ、問題は、救われる人の数ではなく、正しく養われていないことです。」

と言っていました。

ですから、中東で実際に起こっていることを知るだけでなく、神の御言葉の中で、イスラエルの意味についての教義を理解して、皆さんとても喜んでおられました。

それから、なぜ「まずユダヤ人」なのかについてもメッセージしましたし、「次の神殿」についてもお話ししました。また、皆さんの中からリクエストがあったので、「次の神殿」

のメッセージをユーチューブにアップしました。もう既に2万回ほどの視聴数があったのですが、音量が小さすぎるといって苦情があったので、いったん取り下げて、修正してから再度アップしました。ですから、ユーチューブで改善されたものをご覧ください。その中で、私は基本的に全てを説明しています。神が人と共に歩かれ、人の中に住んでおられたエデンの園から、荒野での幕屋、それから第一神殿、第二神殿、さらに第三神殿、それから第四神殿について、そして、もちろん、神殿のない新しいエルサレムについてもお話ししました。このように、皆さんがそれについて理解を深めることが出来るよう、特に皆さんに撒き散らされている、あらゆるデタラメに関して、分かりやすくメッセージしています。新しい神殿の場所や、新しい論理など、皆さんに本を買わせるために、デタラメを撒き散らしている人たちがいますが、彼らの発言の何一つとして、現場の証拠と一致していません。ですから、神殿について詳しく知りたい方は、ぜひご覧ください。なぜなら、神殿はエルサレム論争の中心ですし、エルサレムは、イスラエル論争の中心です。そしてイスラエルは中東論争の中心で、中東は世界の中心なのです。ですから、これを理解したければ、どうかインターネットでこのメッセージをご覧ください。きっと祝福されることでしょう。ユーチューブにアップしています。「The Next Temple/次の神殿」です。

次に、愛するカナダの友人たちへ、簡単にお知らせします。

今は理由はお伝えできませんが、9月22日にブリティッシュコロンビアで行われるカンファレンスに、私が行くべきではないということが、ビホールドイスラエルの役員会で決まりました。私も、そこには深入りしたくはなくて、次に進みたいと思っています。私たちは、「ビホールドイスラエル・カナダ」を非営利団体として登録しています。ですから、私たちのやり方で、確実にカンファレンスを行なっていきます。今回の不参加について、詳しい理由はお伝えしませんが、ただ、皆さんはどうか私たちと繋がっててください。そして、講演をご希望される方は、canada@beholdisrael.org までご連絡ください。これから、カナダでの講演を計画しています。場所は恐らくトロントあたりで、今年9月か、来年早々になるかと思えます。とにかく、私はカナダの友人たちを忘れていないだけでなく、事実、皆さんのことは私の心に重くのしかかっています。ですから、私は必ずそちらを訪れて、違った形で行きたいと思っています。繰り返しますが、9月22日は、私はあのカンファレンスに行きません。しかし、皆さんとは連絡を続けて行きますので、メールアドレスとお名前、またご希望であれば、ご住所やお電話番号をお知らせください。私はカナダを訪れますし、カンファレンスも行ないます。私と共に講演する人もすでに決まっています。ただ、22日ではありません。その事だけは明確にしておきます。私たちのカンファレンスは、少し違ったものになります。料金がずっと低いことは確実です。

では、情勢アップデートに入りましょう。

まずは、ガザでのロケットやその他の出来事についてお話します。

私はずっと言って来たので、皆さんはご存知でしょうが、このガザでの出来事の全貌は、3歳の子どもが18歳に喧嘩を売っているようなものです。そこに対等なものは、何一つありません。パレスチナには、イスラエルと対等に戦えるものは何もありません。イスラエルは、望むなら恐らく20分以内にガザを滅ぼすことが可能です。しかし我々はこれまでにそれを望んだことはありませんし、今も望みませんし、そんなつもりもありません。

しかし先週から我々は、全てのペテン師たちに対して、

「いい加減にしろ！」

と告げることを決断しました。



Figure 1 ガザ国境で殺害された
イスラエル兵 Aviv Levi 軍曹

確かに彼らは、イスラエル兵1人を殺しました。

しかし、ロケットを200発も300発も400発も送り込んでおきながら、死者はたったの一人。しかもその事でお祝いするとは、彼らがどれほど情けないかを示しています。

イスラエルは60の標的を破壊する事を決定しました。パレスチナ、ハマスはエジプトに駆け込み、停戦に合意するから、イスラエルを止めてくれるようにと懇願しました。そして彼らは、ついに合意しました。以上です。イスラエルは、ガザとは関わりたくありませんから。我々はガザには入りたくありませんし、現在200万人のガザ市民を支配したくはありません。なぜなら、我々の目は北に向いているからです。次は、それについてお話します。

我々は未だに、イランのシリアに地位を確立しようとする動きを目にしています。ヒズボラがそれをしていて、イランのソレイマニー将官がパキスタンやアフガニスタン、イラクから召集した民兵がそれをしてしています。



Figure 2 ソレイマニー イラン革命防衛隊将官

彼らは外国人のシーア派民兵で、現在、イランが犠牲にささげている肉のようなものです。何が起きたかという、彼らがどンドンどンドン数を増していることに我々は気付いて、イスラエルは先週、少なくとも2回攻撃しました。そして、いくつかの標的を破壊しました。ただ、我々が何を攻撃したのかは公表することは許されていませんので、お伝えはしませんが。

昨日、レッドアラートがありました。イスラエルは、我々のすぐ近くでロケットが飛来しているのに気付きました。どうやらアサドと反政府軍がゴラン高原で戦っていたようで、イスラエルは初めて、「デイヴィッド・スリング」と呼ばれるものを使いました。



Figure 3 デイヴィッド・スリング ミサイルシステム

私たちの防衛システムには、全て聖書的な名前が付いていて、戦車は「Chariots/馬車」、ロケットは「Arrows/ 矢」、そして防衛システムは「David's Sling/ダビデの投石布」です。そこで我々は、シリアのロケットを撃墜するために、その新しいものからロケットを2発、発射しました。ちなみに、それは我々の領土には一切落下しておらず、彼らの領土に落下しました。しかし、それらが我々に向けて発射されないように、釘を刺さなければなりません。シリアは現在、国の南部で非常に大変な状況に直面しています。それから、次のことをよく聞いてください。



Figure 4 米露首脳会談共同記者会見

トランプ大統領がプーチンと会談したことで、大勢の人が彼を攻撃していて、イスラエルの安全のために、この会談の重要性を理解している人は、ごくわずかです。それについてご説明します。まず第一に、あれは素晴らしい会談だったと思っています。彼は、過去のどの大統領とも違って、ロシアに何も与えませんでしたし、彼は実際には、ロシアから得たのです。まさに、彼が北朝鮮に対して行なったのと同様です。彼は、他の民兵や他の機関ではなく、ロシアがイスラエルとシリア国境に対処するという保証を、ロシアから得ました。

というと、恐らく皆さんは、

「それはイスラエルにとって良い事なのか？」

と言うでしょう。今の時点では、他の選択肢よりも、こちらの方がまだマシです。そして預言的には、これは完璧です。なぜなら、ロシアは今や公式に、イスラエルの合意を含む国際的な合意の下、イスラエルに攻めて来る他のものを止めるという国際的な使命をもって、イスラエルとの国境に留まっているのですから。

私の言っていることが分かりますか？

トランプ大統領とベニヤミン・ネタニヤフは、ロシアが国境に留まることに Go サインを出したのです。ここ

で皆さんは、

「なぜ、そんな事をさせるのか？」

と思われるかも知れませんが、皆さん、理解しておかなければなりません。

それは、起こらなければならないのです。

しかも、それは起こらなければならないだけでなく、その時点では、イスラエルにとってベストであるように見えるのです。

ちょうど第三神殿が、今はユダヤ人にとってベストであるように見えているのと同じです。私たちは、それが間違いであるとは知っていますが、それにはとんでもない結果が伴うことを、私たちは知っていますが、しかし、ユダヤ人たちにとっては、今の時点で、神殿を建てる時点では、それがベストなのです。ですから皆さんは、その時点でのイスラエルの危惧を、ご自身から切り離して考えなければなりません。神が主権を握っておられます。そして神は、全ての事が、神のやり方で起こるようにしておられます。しかし、世界の指導者たちはそれを知りません。ですから、ベニヤミン・ネタニヤフは現在、ある事に合意し、トランプ大統領はベニヤミン・ネタニヤフを助けようとし、それがイスラエルにとって良い事であると理解したうえで、ロシアが国境沿いの地主になることに合意しました。ロシアは組織的に、南部のすべての町を破壊しました。私のところには写真も動画もありますが、信じられないほどの破損です。反政府勢力は諦めました。全ては、他の選択肢が更に悪いためです。ですから我々信者は、最終的に何が起こるかを知っており、同時に、今のこの時点での必要を理解して、葛藤します。しかし、心配するのではなく、我々は全ての事が起こり、然るべき場所に収まっていることで、神を讃えるべきです。ですから、皆さん、繰り返しますが、理解しておいてください。ドナルド・トランプ大統領は、イスラエルのシリアとの国境を守るため、ベニヤミン・ネタニヤフの話を聞いた後、ヴラディミール・プーチンがロシア兵を国境に置くのを、ネタニヤフが認めることに賛成しました。

これについて明瞭であることを願います。その見返りに我々は何を得たか？

その見返りに、我々はシリア国内のあらゆるイランの標的を一切、ロシアの介入や妨害なしに攻撃できることで合意を得ました。

皆さん、ご理解いただけただけでしょうか？私たちは歴史的な事を目撃しているのです。イスラエル軍は、ガザも不安定ではありますが、ガザは我々の存在に脅威を与えるものではありませんから、我々が現在目を向けているのは、ゴラン高原、シリア、イランです。

それから、皆さん、次のことを理解しておいてください。アラブ人たちが問題であった時代は、もう終わりました。これを暗記してください。皆さん、それを理解しておいてください。第一の層である国々は、もうありません。

ヨルダン、イスラエルがヨルダンを必要とする以上に、イスラエルを必要としています。

エジプトは、イスラエルがエジプトとの平和を必要とする以上に、イスラエルとの平和が必要です。皆さん、理解しなければいけません。現在、これらの国々の安定は、彼らのイスラエルとの友好関係と、イスラエルがアメリカ合衆国との間に結んでいる同盟に頼っているのです。また、皆さんは次のことも理解しておいてください。イスラエルが、レバノンやシリア、エジプトやヨルダンを恐れていた時代は、もう終わったのです！

我々はアサドを恐れてはいません。

我々とヨルダンとの関係は良好です。ですから我々は現在、全く違うことを語っています。

現在、イスラエルが使う術語の全ては、イラン、トルコ、ロシアです。

イラン、トルコ、ロシア。

我々は、他のことについて語っていません。

そしてそのために、イスラエルには地域に新しい同盟があるのです。

トルコに対抗して、我々はキプロス、ギリシャと同盟を結びました。

イランに対抗して、我々には現在、サウジアラビア、ヨルダン、エジプトとの同盟があります。

ロシアに対抗して、我々には最高の同盟国、アメリカ合衆国があります。

皆さん、理解しなければなりません。

これが、現在の我々の利得です。

私たちは、頭脳を使わなければなりません。

あなたが聖書を変えるのではありません。そうではなく、これらの事が起こったときに、あなたの居場所を変えるのです。それと、あなたの生き方、あなたの選択を変えるのです。

例を挙げましょう。良いですか？

サウジの記者アフムッド・アル＝アフアジが次のように言っています。

「イスラエルとの国交の正常化は、議題に定められている。我々には、より大きなイランとの問題があるのだ。」

(書記注：MEMRI.org 2017.10.25より引用)

彼はさらに、

「サダム・フセインやムアンマル・カダフィーのような、イスラエルを滅ぼそうとしたアラブの指導者たちはいなくなり、イスラエルは繁栄し、より強くなっている。」

と言っています。

基本的に、我々の周辺のアラブ人たちは、これに大きな意味があることを理解しています。

非常に大きな意味があります。何故でしょう？

それは、お伝えしました通り、私が信じているのは、詩篇 83 篇がもう既に起こっただけでなく、独立国家としてのイスラエルの存在の始まりを詳細に告げています。1948年、1967年です。考えてみてください。

皆さん、考えてみてください。

聖書は、詩篇 83 篇で、3つの大きな事について告げています。

① 敵は、神の敵であって、イスラエルの敵ではありません。しかし彼らは、イスラエルに敵対して来ます。ですから、これは宗教的な事であり、他の神々を拝む者たちです。経済的な事ではなく、霊的な事です。

② これは、イスラエルを取り囲むアラブ諸国のことを告げています。ツロなど、レバノンに住む者たち、それからゲバル(書記注：ベイルートの北方約 30 kmにある地中海沿岸都市。古代フェニキアの都市ビブロス。現在はジュベイルと呼ばれている。)、アモン、モアブとハガル人やイシュマエル人、これは、エジプトやヨルダン、シリアに住む者たちの名前です。全ての隣接する国々です。そして聖書は、彼らが攻めて来る理由を

4 …彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないように

(詩篇 83:4b)

するためだと告げています。つまりこれは、イスラエルの名が突然復活し、彼らがそれを消し去ろうとすることを意味しています。イスラエルが「イスラエル」と呼ばれる国家として宣言されたのはいつでしたか？1948年です。ところで、聖書には

8 アッシリアもまた、彼らにくみし、…

(詩篇 83:8a)

とあります。これは現在のイラクです。1948年、信じがたいかも知れませんが、イラクはヨルダンを通して、カウクジ将官率いるアラブ解放軍、彼らもまた侵略しました。彼らもまた、イスラエルに敵対して来た同盟国の一部だったのです。イラク、ヨルダン、エジプト、レバノン、シリア。まさに、詩篇 83 篇が告げている通りです。

- ③ そして聖書は、彼らが辱めを受ける、と告げています。考えてみてください。アラブ人の巨大軍隊 5 つに対して、軍事的な経験も、装備もチャンスもない、ユダヤ人たちの小さな集団です。ところが、彼らは負け、辱めを受けたのです。また、数々の記述の中で、彼らは数千人のイスラエル兵を見たとありますが、——我々には一人もいなかったのに——彼らは辱めを受けました。神が、数々の場所で、大いなる形でご自身を現わされました。

つまり、要点はこうです。

アラブ近隣諸国が、イスラエルを取り去って、その名がもはや覚えられないようにしようと集まって、イスラエルに攻めて来た時代は終わりました。今の時代、イスラエルはより強く、イスラエルは繁栄しており、イスラエルは他の者たちが欲しがるものを多数持っています。そして、次の闘争では、ロシア、トルコ、イランが略奪しようとしています。我々からものを分捕ろうとする、経済的な利益が目的です。

皆さん、理解しておいてください。

エゼキエル 38 章の目的は、イスラエルの名前でもなければ、国としてのイスラエルを取り去ることでもありません。こちらは、攻め取り分捕り、略奪するためです。

しかし、主が再びご介入されます。

そして、今回だけは地震が起こります。超自然的なご介入です。

この数週間の間、まるで神が地盤を試されているようです。イスラエルでは、小さな地震が起こっています。昨日も一度ありましたし、二週間前も、一週間前にも何度かありました。ですから皆さん、物事を正しい視点で見てください。私がこれを言う理由は、ヨルダン、エジプトがまたイスラエルに敵対するとか、私には想像すら出来ないからです。彼らはサウジからの経済的な支援を受けていますから。彼らは、サウジの支援なしには生きていけません。そして、つい先ほどもお伝えしましたが、サウジは

「イスラエルと同盟を組むのは自分たちの利益になるのだ。我々の共通の敵はイランだからだ。」

と、彼ら自身が言っているのです。

ですから、どうか皆さん、ご理解されますように。

我々が非常に小さく、彼らが我々の土地を取り上げようとしていた詩篇 83 篇から大きく移行するのを目にしているのです。彼らは、我々から何かを奪おうとしていたのではありません。彼らは我々の土地を奪いたかったのです。彼らは、名前を消し去りたかったのです。1948 年が、そうでした。また、そこには「神の牧場」と書かれています。つまりそれは、死んでいた土地が緑になり、彼らがそれを欲しがるということです。これは 1948 年のことです。何故これが見えないのか、驚きです！

そしてその次に、アラブの春によって、我々を取り囲む国々が粉々に砕け散りました。その間にも、イスラエ

ルはどんどん強くなっています。現在、世界で8番目に強い国です。ですから皆さん、理解してください。この70年の間に、我々は詩篇83篇の祈りから、エゼキエル38章の欲望の標的となり、驚くべき移行を遂げたのです。近隣諸国が集団で攻めて来る弱小国家から、今や近隣諸国との平和を先導する国へと、見事に180度の変化です。皆さんは恐らく言うでしょう。

「アミールさん、イスラエルの中は平和なようには見えませんか？」

イスラエル人の99%は、平安の中に生きています。

ガザ地区周辺に住んでいるのは数千人で、確かにあちらは安全ではありません。現在、ハマスは定期的に何らかのペテンを行なっていますから。しかし、それだけです。実際、最近の統計では、イスラエル人の90%が「今までで最も安全だ」と感じていることが分かりました。安全とは、ロケットの有無ではありません。安全とは、皆さんの感覚です。言っておきますが、シカゴの人たちは安全だとは感じていませんよ。それからシカゴで日々死ぬ人の数は、一年間にイスラエルでテロで死んだ人の数を上回ります。

ですから皆さん、物事を理解して、正しい視点から見なければなりません。もう一度、この件についてお話ししたいと思います。我々は理解しておかなければなりませんから。我々が現在目撃している、次の出来事は、我々の国境におけるロシアの地位確立です。イランは同じことをしようと試みています。トルコは、イスラエルが成功している事と、イスラエルがトルコの近隣諸国と同盟を組んでいることに対して、苛立っています。我々は、物凄い事を目にしています。我々は、聖書が約2,000年間語り続けてい来たことを見て、体験する世代になりそうです。このために、私は皆にしつこく何度も「備えをするように」と言うのです。その日その時を数えるのでもなく、天を見て、7月28日だとか9月13日だとかいうのでもなく、備えをしてください。ご自分の人生を、備えてください。間もなく救い主にお会いする者らしく生きて、備えてください。また、

「わたしがあなたに与えたこの世の中、この人生の中で、あなたは、わたしのために何をしたのか？」

と尋ねられる者として、備えてください。

私たちにとっては、ローマ書13章にある通り、やみのわざをうち捨てて、イエス・キリストを着るときです。肉の欲のために、心を用いてはいけません。

だから、我々が備えをするのは、非常に重要なのです。

そして今一度、見張り人としての役割を理解し、従事すること、我々の使命を理解することは非常に重要です。時が良くても悪くても、皆に福音を伝えるのです。信じてください。人々は飢えています。人々は渴いています。人々はもはや、神の御言葉を耳にしていないのです。私はたくさん目にしてきました。いろいろな人が私のところに、有名な牧師のメッセージを転送して来ます。彼らが福音を伝える事さえしていないのを見て、私は恥ずかしく思うのです。それは、私の知っている聖書ではありません。そこには、悔い改めという言葉がありません。

罪という言葉がありません。

神の裁きという言葉が、そこにはありません。

全体がフワフワしています。

しかし、人は一度死ぬことと、死後に裁きを受ける事が定められていると、誰もが理解しておかなければなりません。裁きはあります。私たちは、自分たちの罪の性質のために裁かれるのです。しかし神が、解決策を与えてくださった時、神が私たちに逃れの道を与えてくださった時、神は、

「わたしが、手を差し出そう。」

と言われたのです。ところが私たちは、

「いいえ。それは要りません！」

と言い、そのために裁かれるのです。それほどに、シンプルな事です。

しかし、多くの人が、その差し出された御手を知りません。解決策について、望み、平安について知りません。ちなみに、人々に望みや平安がないのは、誰も彼らに伝えていないからです。私たちが伝えなければなりません。望みはある、平安はある、ということ、私たちが伝えなければなりません。そして、それはイエスにあります。ここでは見つけることが出来ません。この世では、どれほど美しく見えるものも、平安に見えるものも、そこに何の意味もありません。私は、たくさんの美しい場所を訪れました。それから、自分たちの目にしているもの、持っているもの、それぞれの居場所に物凄く満足している人たちにも、たくさん会って来ました。しかし聖書には、目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、人の心に思い浮かんだことのないものを、神が、私たちに備えてくださっているとあります（第一コリント2:9参照）。

この世の最も美しい場所でも、神が私たちに備えてくださっているものとは比べものにもなりません。

皆さんがここで見つけることの出来る、最も素晴らしい平安も、神が私たちに備えてくださっているものとは、比べものにもなりません。

また、皆さんの中には、物凄く疲れ切っている人もいるでしょうし、中には悲しくなっている人もいるでしょう。しかし、理解しておいてください。

主を喜ぶことが、私たちの力です。私たちの内側には、喜びを見つめることが出来ないかも知れません。だから、その時こそ、私たちは聖書に帰らなければなりません。そして聖書の中に、私たちは神の御言葉を見出し、神の望み、平安を見出すのです。私たちが、神の御言葉に浸れば浸るほど、さらに喜びや平安が増します。しかしもっと重要なのは、それによって私たちは、悪い教えや偽教師をさらによく察知し、見分けることが出来るようになります。皆さんが神の御言葉を聞けば聞くほど、神の御言葉を理解し、分かるようになればなるほど、神から出ていないものがよく分かるようになります。神から出ていないものを見分けるのが簡単になります。聖書とはまったく一致していない、というように分かるようになります。

ですから、皆さん全員を励ましたいと思います。出来る限り、聖書に浸ってください。それは、周りで起こっていることを理解するためだけでなく、平安と喜び、望みがそこにあるからです。なぜなら、私たちは望みのない人たちのようではないからです。パウロは、第一テサロニケ4章で、「望みのない者ようになるな」と言っています。

確かに、死ぬ人もあるでしょう。しかし彼らはただ眠っただけで、キリストにある人は、死にません。それは死ではありません。死とは、使徒パウロの思想では、完全に神から離れることです。それが、地獄での永遠の死、神から完全に離れることです。しかし、私たちは、離れてはいません。何ものをも、私たちを神の愛から引き離すことは出来ません。高さも、深さも、死も、何も、イエス・キリストにおける神の愛から、私たちを引き離すものではありません（ローマ書8:38~39参照）。ですから、私たちにとっては、生きている間は彼とともにいて、私たちは死ねば眠りますが、まだ彼と共にいます。そして、その日が来れば、私たちはよみがえり、肉体的に彼に会い、永遠に彼とともにいるようになるのです。ですから、私たちにとっては最悪の出来事である死さえも、そこまで悪くはないということを理解しなければなりません。

ということで、現在中東ではシリアでの状況に、我々の目を向けておかなければなりません。パレスチナ問題

は、問題ではありません。私はずっと言って来ましたが、皆さんは

「レッドアラート！レッドアラート！」

とあまりにも恐れすぎています。中には、イスラエル人よりも怖がっている人もいます！

レッドアラートというのは、ロケットが飛んで来た時や、何かを探知した時にイスラエル人に知らせるためのアプリですが、皆さん、それは大したことではありません。信じてください。北からレッドアラートが来た時には、北から悪が来るのですから。それが北から来たときには、皆さんも心配するべきです。だから私は昨日、少し心配したと言いますか、北からレッドアラートがいくつかあったことが、私には奇妙に思えたのです。もちろんその後、これはシリア政権と反政府軍とが南部で戦っていたことが分かるのです。今、イスラエルの北部、ゴラン高原に行ってみてください。爆撃音が聞こえますよ。でもそれはイスラエルではありません。しかし、それほど遠くないために、私たちにも聞こえるのです。そういうことです。

ということで、どうか御言葉に留まってください。主とともにいてください。そしてどうか、世の出来事に影響を受けて、悲しまないでください。

私は、預言者エレミヤが17章7節で書いていることが好きで、よく引用しますが、彼はこのように言っています。

7 主に信頼し、主を頼みとする者に祝福があるように。

8 その人は、水のほとりに植わった木のように、流れのほとりに根を伸ばし、暑さが来ても暑さを知らず、葉は茂って、日照りの年にも心配なく、いつまでも実をみのらせる。

(エレミヤ 17:7~8)

ですから、悪いことが起こらない、というわけではありません。

日照りや暑さがあっても、私たちは葉を茂らせ、私たちは花を咲かせます。

それは、私たちが世の事を信頼するのではなく、主に信頼し、主を頼みとする者に祝福があるように、です。私はドナルド・トランプやベニヤミン・ネタニヤフを大々的に支持しているように見えるでしょうが、私が信頼するのは彼らではありません。もしあなたがそのように考えているのなら、大間違いです。私は、主に信頼しているのです。そして、その時が来れば、明らかにイスラエルが大攻撃を受けると言う事は、どちらの指導者も、それを止めることは出来ないということです。そうなったら、我々は彼らを告発するのですか？いいえ。それは起こります。

私は、ドナルド・トランプが、ロシアのイスラエルへの侵攻を止めるなんて、期待はしていません。彼らは、攻撃します。

私は、ベニヤミン・ネタニヤフが、イスラエルが攻撃されるのを止めるなんて期待していません。彼らは、攻撃して来るのですから。

私が信頼するのは、政治家ではありません。しかし神が、目的をもって、いつの間彼らを送られたのを見たなら、私は彼らを攻撃しません。私は彼らを支援します。

しかし、その日は来ます。

その日が来れば、彼らは間違いを犯します。

そしてイスラエルは攻撃されます。しかし、主がそこにおられます。

だから私は、主に信頼しているのです。

主に信頼し、主を頼みとする者に祝福があるように。

皆さんは誰を信頼しますか？

今日、あなたは誰を頼みますか？

政治家ですか？

それとも、皆さんの周りの人ですか？

ご家族ですか？

それとも、主ですか？

それを皆さんは覚えておかなければなりません。

ということで、皆さん、理解しておいてください。

シリアで問題が起こっています。イスラエル北部で、問題が起こっています。

しかし、全ての事は目的があって、一時の間起こっているのもあって、神が、完全に支配しておられます。

そして、神が絶対にお許しにならないのは、神を嘲り、馬鹿にすることです。

今週、私はイザヤ書の中で、イスラエルに攻めて来たアッシリアの王の話（書記注：第二列王記 18:13～19:37、第二歴代誌 32:1～22、イザヤ書 36～37 章参照）を思い出していたのですが、彼ははるばるラキシュからやって来て、エルサレムにいたヒゼキヤ王に巻物を送りました。そこでヒゼキヤ王は、神殿に行ってその場でひざまずき、言いました。

「主よ、ご覧ください。アッシリアの王が攻め込み、私たちを連れて行こうとしています。主よ、どうしてこのような事を許されるのですか？どうかお願いしますから、目を開いてみてください。」

それから彼は、当時の預言者であったイザヤの元へ使いを送り、言いました。

「神から何か聞こえるか？神が何と言っておられるか、教えてくれないか？」

そこでイザヤは、

「はい。次のことを聞きなさい。」

と言いました。

「神は、セナケリブ王（書記注：アッシリアの王 BC705～BC681 在位）に言っている。『あなたが攻撃することを定めたのは、わたしだ。わたしはこのことを知っていた。わたしは、あなたの思いの全てを知っている。だが言っておく。あなたは、わたしの民に敵対して攻めこみ、彼らに対して高ぶり、わたしに敵対している。』」

それから神は、預言者イザヤに、アッシリアの王セナケリブに告げるよう、命じられます。

「わたしは、あなたの鼻に“鉤輪”をつける。」

聞き覚えがありませんか？鉤？

29 あなたがわたしに向かっていきりたち、あなたの高ぶりが、わたしの耳に届いたので、あなたの鼻には鉤輪を、あなたの口にはくつわをはめ、あなたを、もと来た道に引き戻そう。

（イザヤ書 37:29）

ワ～オ。そして翌日、アッシリアの兵士 185,000 人が死に、その二年後、セナケリブ王は、自分の子どもたちに暗殺されます。

神を嘲ってはいけません。

神に敵対してはいけません。

そして、神が支配していないなどと、一瞬たりとも考えてはいけません。

神は、完全に支配しておられます。

神は、何が起こるかをご存知です。

神が、物事を定められるのです。

エゼキエル 38 章をよく読めば、わかります。神が、ゴグに

「わたしが、あなたを来させる。」そして、「わたしが、それを裁く。」

言い換えれば、神は、彼らの考えをご存知です。

そして、神がそれを許されるのです。神をご存知です。彼らが、神の後ろでコソコソと行なうのではありません。神がそれを許されるのです。そして、そのことで、神が彼らを裁かれます。

ですから神は、人の心に思い浮かぶ想いをご存知です。

そして神は、それに応じて人を裁かれます。

繰り返しますが、裁きがあります。

そして、神の裁きから逃れるためには、私たちは聖霊を持っていなければならず、イエスを私たちの助言者として受け入れなければなりません。

イエスが、私たちのために執り成してくださる方であり、イエスが、聖い神の小羊で、他のいかなる動物よりも優れた血を流されました。そして、神が私たちを、イエスの血のフィルターを通してご覧になると、私たちも完璧に見え、私たちも聖く見えるのです。それは私たちの力ではありません。イエスの血潮の力です。それは、私たちがその血潮を受け入れた時、私たちがそれを信じた時にのみ、そうなるのです。イエスと、イエスが十字架の上で成し遂げてくださったことを信じることによるのみ、私たちは救われるのです。

私たちは自分の働きや、自分の行動によって救われることは出来ません。

オーストラリアでは、ある人が私の所へ来て、言いました。

「私は、異邦人は安息日を守らなければならないと信じています。神の御言葉の一部ですから。」

そこで、私は

「いつから、律法によって人が救われるようになったのですか？」

と言いました。使徒の働き 15 章を読んでください。

「皆さん、どうして私たちの父祖さえも担いきれなかった重荷を、彼らに負わせるのですか？もし、我々ユダヤ人が律法を全うできないなら、我々にも出来ない事を、どうして異邦人に期待するのですか？彼らも私たちも、イエスを信じることによるのみ救われると、私たちは知っているのです。」（書記注：使徒の働き 15:10～11 参照）

私たちは、このことを覚えておかなければなりません。

ということで、このアップデートでも、皆さんにも状況がご理解いただけたかと思います。それから、周辺のアラブ人たちが滅ぼそうとしていた国から、今や他の国々によって脅威を受ける大国へと変わった、イスラエルの移行がご理解いただけたでしょうか。

詩篇 83 篇から、エゼキエル 38 章への移行を、皆さんがご理解されたことを願います。

83 が、38 になりました。

それから、皆さん、どうかご理解ください。

私たちの望みは指導者にはなく、私たちの望みは主にあります。

最後に、カナダの友人たちにもう一度お伝えしておきます。

将来的なカナダでのカンファレンスについては、canada@beholdisrael.org 迄ご連絡ください。繰り返しますが、9月22日には、私は行きません。しかし、私たちがカンファレンスを企画します。そして、メールアドレスをいただいている方々にはご案内しますので、皆さん、どうぞご連絡ください。お名前、電話番号、ご住所、あなたが知らせたいことを、どうぞ私たちにお知らせください。そうすれば、次のカナダでのイベントについて、こちらからご連絡してお知らせいたします。

オーストラリアは素晴らしかったです。また、オーストラリアに戻って来ます。私は、パースが大好きです。また、メルボルン、シドニーにも同様に戻って来ます。

それから、ニュージーランドもとても楽しみです。

私の後ろに見えているのは、クライストチャーチ市の公園です。家に帰る前に、異なる5ヶ所で講演をします。

皆さんのお祈り、ご支援に感謝します。

私の健康について、腰痛についてご心配くださり、ありがとうございます。たくさんの方が、わたしの腰痛をお祈りしてくださっています。移動するのは大変ですし、ホテルが変わり、ベッドが変わり、何時間も飛行機に乗るのは大変です。私は24歳の時から腰痛持ちで、フィリピンで大きな事故に遭って、死にかけたのです。しばらくは車いす生活で、ヘリコプターで病院に担ぎ込まれ、そこで治療を受けました。重傷を負って、その時からです。あれが、わたしのミニストリーツアー第一回目で、敵が私を消そうとしたのです。ですから、あれ以来、私は腰痛持ちで、出来る限り大事にしているのです。睡眠剤は眠る時に助かっていますし、時差ボケ解消にも役立っています。皆さん、ご心配くださり、ありがとうございます。また、お祈りとご支援にもとても祝福されています。

では、このアップデートの終わりに、繰り返しますが、インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブ、それからツイッターをフォローしてください。

では皆さん全員の上に、アロンの祝福をお祈りして、このアップデートを終わりにしましょう。

	ヴェイシェメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴェーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וַיְחַנֶּכֶךָ	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹמִים	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るよう	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシェメレハー
 ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェーフネッカー
 イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

私たちの理解をはるかに超える平安、世が与えることも、理解することも出来ない平安、平和の君、平和の主だけが与えることの出来る平安が、今も、とこしえまで、ここでも、どこにおいても与えられますように。私たちの平和の君、イエシュア、私たちの救い、イエスの御名によって。アーメン。

アーメン。ありがとうございます。I love you! God bless you!

カナダの皆さん、canada@beholdisrael.org までご連絡ください。それから、ビホールドイスラエル・オーストラリアも始めます。ここも訪れて、この聖徒たちに御言葉を伝えて行きます。ここ、ニュージーランドも、今は非常に楽しみです。主が、扉を開かれたのですから。昨夜は、移民局で止められて、少し変な感じでしたが、私がここに入国するのは、今回が初めてで、私がどういう者なのか、聖書教師が登場して、どのように取り扱うべきなのか、分からなかったようです。彼らは私の指紋を取って、写真を撮って、財布を調べて、旅行日程を調べて、よく分かりませんが、何とか入国できました。実は、旅行者ビザが3か月分出ました。私は8日しか滞在しないので、そんなにいないのですが。私は大丈夫です。敵は、私にここに来させないようにしましたが、私はここにいます。

ありがとうございます。I love you! God bless you!

ニュージーランドのクライストチャーチより、シャローム！
 さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

ガザ国境で殺害された Aviv Levi 軍曹 : Facebook Israel Defense Forces “Staff Sgt. Aviv Levi, 21, was killed by a sniper from Gaza this past Friday. May his memory be a blessing” 2018. 7. 22

ソレイマーニー イラン革命防衛軍将官 : Wikipedia 「ガーセム・ソレイマーニー」

デイヴィッド・スリング ミサイルシステム : Wikipedia “David’ s Sling”

米露首脳会談共同記者会見 : You Tube Fox News “Fall out from Trump’ s face to face meeting with Putin” 2018. 7. 16